

# 防災の スズメ

「もしも」に備えを！⑬

■防災対策課 ☎57-8501



《きぼうの鐘を鳴らす》  
女川駅前にあつたからくり時計に付いていた鐘。もともと4つありましたが、震災後にひとつだけが瓦礫の中から見つかり、復興の象徴として新たに設置されました。

## あの日から5年 宮城県女川町の復興

3月11日で東日本大震災から5年を迎えます。復興支援で香南市から宮城県女川町へ派遣されている猪原一幸係長から、被災したまちの現在をお伝えします。

### ！ 特別警報を学ぼう

「特別警報」は、「警報」の発表基準をはるかに超える数十年に一度の大災害が起ると予想される場合に発表し、対象地域の住民の方々に対して最大限の警戒を呼びかけるものです。その際に市からは、防災行政無線や登録者には香南市配信メールなどで皆さんにお知らせすることとしています。

### 特別警報は2つに分類されます

#### ▶大雨・暴風・高潮・波浪・大雪・暴風雪

各「警報」の発表基準よりもはるかに危険度が高い場合に「大雨特別警報」「暴風特別警報」のように「○○特別警報」といった名称で発表します。



**洪水**を対象とした特別警報はありません。指定河川である物部川の洪水予報の発表や水位情報の周知により警戒を呼びかけています



#### ▶地震・津波

地震・津波に関しては、それぞれ危険度が非常に高いレベルのものを「特別警報」として位置付けます。「○○特別警報」という名称ではなく「緊急地震速報」「大津波警報」という名称で発表します。



**地震**  
緊急地震速報のうち震度6弱以上の揺れを予想したものの



**津波**  
津波の高さが3mを超える「大津波」と予想される場合に発表

### 特別警報の対象に当てはまる現象例は…

これまでに起こった災害のうち東日本大震災(地震・津波)、阪神淡路大震災(地震)、九州北部豪雨(大雨)、平成23年台風第12号(大雨)、伊勢湾台風(大雨・暴風・波浪・高潮)などが当てはまります。

仮にこの数十年間、災害発生の経験がない地域でも油断は禁物です。特別警報が発表されたときは、経験したことのないような大雨や暴風など、異常な現象が起きる状況であるため、ただちに避難情報に従うなど、適切な行動をとることが重要です。

特に大雨などの、時間とともに危険度が増していく現象では、特別警報よりも前から段階的に発表される気象情報や注意報・警報をしっかり把握し、早めに行動をとることが大切です。

### 避難所での食事を考える 香南市女性防火クラブ連合会炊き出し訓練

2月4日(木)市内各地区の女性防火クラブが集まり、炊き出し訓練を行いました。地震後の避難所において、不足する食材などをどう工夫して提供できるかを考える場として、用意された非常食を中心に各地区クラブに分かれて調理。見た目や味だけでなく、箸を使わなくても食べられるものや食後の洗い物が少なく済むような工夫などが見られました。



非常食で作った、おにぎらず▶

高知県では、南海トラフ地震に備えて津波避難タワーなどの災害対策設備の整備が急ピッチで進んでいます。これらの事業は東日本大震災が大きなきっかけでした。震災から早5年が経ち記憶も薄れてきましたが、東北ではまだまだ復興は続いています。

これまで女川町復興のために派遣されてきた職員は全国から延べ約250人を数えます。また、自治体以外に一般企業の方もいます。香南市からも私を含め延べ4人の市職員が女川町に派遣され、高台住宅の用地交渉や、被災した住宅後地の買い取り業務に奔走してきました。

女川町は昨年3月に鉄道石巻線の復旧に合わせて「おながわ復興まちびらき」イベントを行いました。また、12月には駅前商店街がオープンするなど多くの人たちの力で成しえた復興の姿が日々感じられます。

私も、用地交渉などで町民の方々と直接話をしますが、女川町の復興事業に対して協力的で、町と住民とが本当に一体となったまちづくりをしていると感じました。

女川駅周辺の高台に住民が戻ってくるのは平成29年ごろになり、震災前のにぎわいを取り戻すのはもう少し先のことですが、これからも復興に向けて「まげねど、がんばっぺ。」と東北魂で、女川町も復興していきます。

香南市派遣職員 猪原一幸



女川町から  
香南市の皆さんへ

女川といえば祭りイベント。3月26日(土)には出店がズラリと並ぶ、毎春恒例の「復幸祭」を開催。「津波が来たら高台へ逃げる」避難の大切さを伝える坂道競争「復幸男」も白熱します。

ほか、町内飲食店では女川自慢の海鮮丼や名物料理がお出迎え。駅前商業エリアでタイル絵付けなどを体験し、水産加工品土産を選んだ後は女川温泉ゆづり湯で疲れを癒やして帰路へ。

おいしい海の幸、そして素敵な出会いが待つ女川町へ、ぜひお越しください！

女川町 広報担当  
海産物がたくさん!!  
名物「女川丼」!!

- あたらしいスタートが世界一生まれる町へ。
- START! ONAGAWA**
- 【旧女川交番】津波被害で倒れたままですが、町民の意向、学術的価値などから「震災遺構」として保存することになりました。
  - 【シーパルピア女川】駅前のテナント型商業施設。町民の日常生活をサポートするだけでなく、観光客の需要に対応した機能も合わせ持ちます。
  - 【女川駅】津波被害を受け不通となっていましたが、昨年3月に復旧。温泉温浴施設が合築されています。
  - 【おながわ復興まちびらき2015冬】駅前商業エリアオープンを記念して開催されたイベント。町内外から多くの人々が訪れました。
  - 【災害公営住宅】津波被害の教訓を踏まえ、高台に建設。周囲も高台造成が進んでいます。

■関連ページ…29ページ

写真・情報提供：女川町